

松波総合病院柔道部、躍進！

BSフジ番組にて松波総合病院柔道部が紹介されました。

BSフジ制作の柔道をテーマにしたドキュメンタリー番組『JUDO』において、当院の柔道部が紹介されました。柔道部は2020年4月に創設し、現在3名の部員が活動しています。

7月31日(土)に放送された番組では、選手たちの仕事風景や柔道の練習風景など、仕事と柔道を両立しながら励んでいる姿が放映されました。練習風景では、総監督を務める松波英寿理事長も部員と一緒に稽古しました。各選手たちのインタビューでは、神鳥剛選手、田中大地選手、尾崎良慶選手が柔道に対しての熱い思いを語り、松波理事長からは選手たちに向けてエールを送りました。

また7月10日(土)に行われた『第57回岐阜県柔道体重別選手権大会』の様子も紹介され、輝かしい結果を届けることができました。



『岐阜県柔道体重別選手権大会』で優勝、準優勝となりました。

松波総合病院柔道部は、7月10日(土)に行われた『第57回岐阜県柔道体重別選手権大会』に出場し、優秀な成績を収めました。この大会結果から、神鳥選手・杉浦選手が岐阜県代表の国体選手として選出されました。

大会結果

▶ 一般男子無差別級

神鳥 剛(業務部) … 優勝

▶ 一般男子60kg～73kg

杉浦 冬唯(愛知大学・令和4年入職予定) … 準優勝



▲ 賞状を持つ神鳥選手



次のページは、「大陽がんの外科治療」について

Matsunami Information

NEWS

新型コロナウイルス感染症に関する面会禁止、夜間施錠について

当院では、入院患者さんを新型コロナウイルス感染症からお守りするため、面会禁止とさせていただきます。今後の面会の制約につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、病院ホームページ等でご案内します。

また、各施設の出入り口の夜間施錠を行っております。当院をご利用の皆さまには、多大なご迷惑とご不便をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

各施設施錠時間のご案内



松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。

下記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、下記の連絡先に事前申し込みをお願いします。

日 時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時45分～19時00分
場 所	笠松中央公民館 1階 多目的室 柔道場
連 絡 先	058-388-0111(内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井



まつなみスポーツ選手紹介

当院の柔道部が躍進しておりますが、柔道以外のスポーツで活躍している職員をご紹介します。今回ご紹介するのは、業務部購買管理課所属の鈴木琢人さんです。鈴木さんは、幼少の頃に水泳を習い始め、高校から本格的に水泳に取り組みました。

直近で出場している「岐阜県障害者スポーツ大会」「清流スポーツ大会」では、出場のたびに大会新記録を記録しています。また、「ジャパンパラ水泳競技」などの全国大会にも数多く出場しています。

今年10月開催予定の第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」に出場します。皆さまのご声援をよろしくお願いいたします。



主な成績

- ・第19回岐阜県障害者スポーツ大会(2019年) 25m平泳ぎ 1位(大会新)
- ・清流スポーツ大会(2018年) 50mバタフライ 1位(大会新)
- ・第13回全国障害者スポーツ大会(2013年) 25mバタフライ 1位 など

駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR2導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



ダウンロード・詳しい使い方はこちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



9月は「がん征圧月間」です。臓器別のがんの中で、上位を占める「大腸がん」。 当院で行っている治療方法をご紹介します。

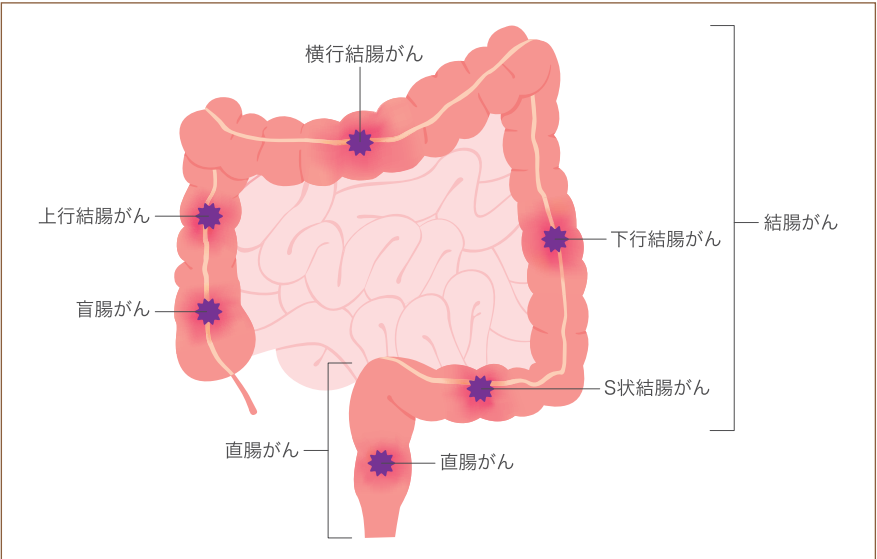
大腸がんの特徴

国立がん研究センター発表の「がん登録・統計（2017年）」によると、1年間に新規で大腸がんと診断された患者数は男性約9万人、女性約7万人で、臓器別に見ると、男性では3番目、女性では2番目に多いがんと言われています。

大腸は、結腸（盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸）と、直腸（直腸S状部、上部直腸、下部直腸）に分けられ、がんが発生した場所によって、治療内容も異なります。

大腸がんは、40歳代から増加し始め、高齢になるほど罹患率（りかんりつ）が上がります。大腸がんの原因の一つとして、脂質摂取過多や食物繊維不足などによる食生活の欧米化や、便秘など腸内環境の悪化が挙げられています。大腸がんは、早期発見・早期治療によって、治癒率が高いと言われていますが、早期では症状が出にくいと言われています。「血便が出る」、「下血が見られる」、「下痢と便秘を繰り返す」などの症状が出た場合は、早めの受診をご検討ください。

当院では、大腸がんの外科治療（手術）を、關野（せきの）医師を中心に行っています。年間100例以上を超える手術を実施しています。以下では、当院で行っている大腸がんの外科治療についてご紹介します。



大腸がんの種類▶

腹腔鏡下手術

（ふくくうきょうかしゅじゅつ）

そういったなかで、近年行われているのが「腹腔鏡下手術」です。腹部に5mm～10mm程度の小さな穴を開け、腹腔鏡というカメラや手術で必要な器具が先端についた鉗子（かんし）を挿入して、お腹の中を映しながら行う手術です。患者さんの身体への負担が小さいことや、回復が早い点などが利点です。

がんの状態や発生した部位、患者さんの体格などを考慮して、最終的に腹腔鏡下での手術を行えるかを判断します。

従来からある開腹手術では、腹部を切開し、患部を広く見渡しながら治療を行うことができ、出血などが起きてもすぐ対応することができるという利点がありますが、腹部に大きな傷が残ることや、術後に痛みを伴うことがあります。

肛門温存療法

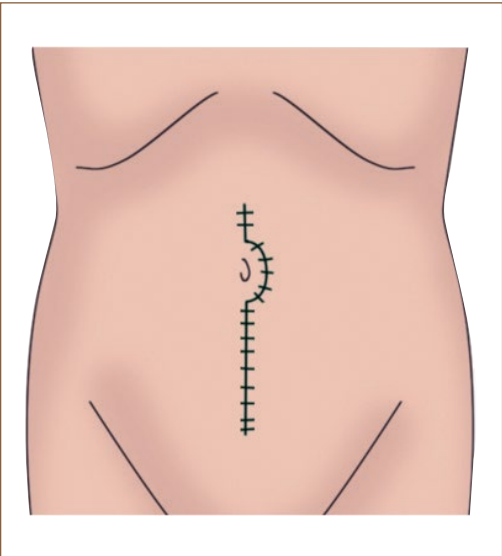
（こうもんおんぞんりょうほう）

療法]があります。

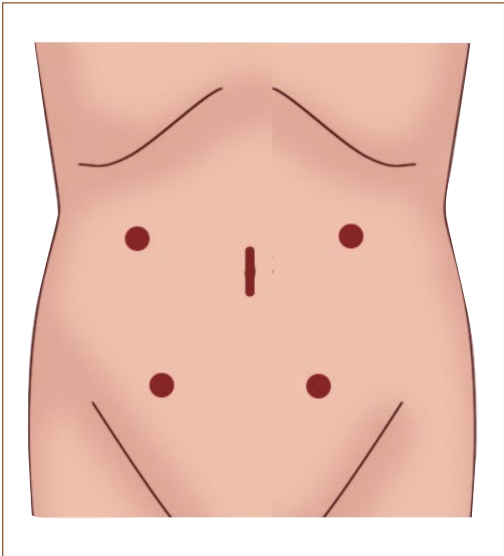
肛門には、無意識にお尻を締める「内肛門括約筋」、意識的に肛門を締めることができる「外肛門括約筋」があります。この肛門温存療法では、がんが外肛門括約筋まで広がっていないこと、肛門からある程度離れた位置にがんがある方が適応となります。

人工肛門を避けたいという方には、可能な限りこの術式を実施できるよう、患者さんの生活スタイルも含めて熟慮し、他の診療科とも連携しながら、治療方針を決めています。

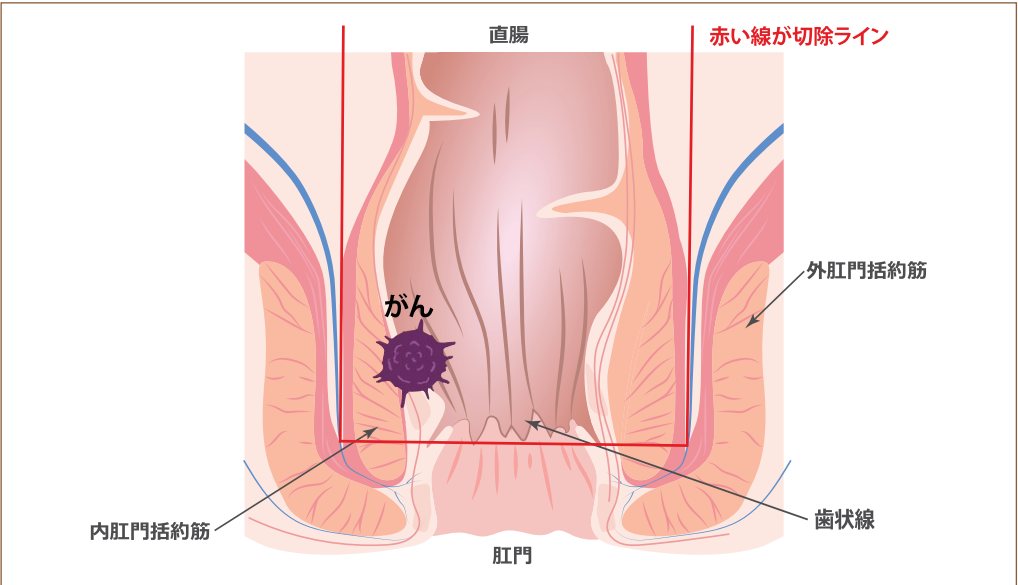
肛門に一番近い消化管である「直腸」にがんができてしまった場合に、最も重要視するのはがんを治療することですが、同時に肛門の機能を温存できるかどうかにも重要視しています。肛門の機能を維持するために、当院で行っている治療法として「肛門温存



▲開腹手術



▲腹腔鏡手術



術中血流評価

（ICG蛍光法）

大腸がんの手術で起きる合併症の一つとして「縫合不全（ほうごうふぜん）」が挙げられます。縫合不全は、外科手術で大腸の一部を切り取り、残りの腸管どうしをつなぎ合わせる際に、縫い合わせた箇所が上手く縫い合わない状態のことです。縫合不全によって、お腹の中に便やガスが漏れてしまい、腹膜炎を引き起こす場合があります。

この縫合不全を防ぐために、行っているのが「術中血流評価（ICG蛍光法）」です。ICG（インドシアニングリーン）という緑色の薬剤を血液中に投与し、腸の縫合部の血液が流れているかを薬剤の蛍光発色によって、腸管の血流評価をリアルタイムで行う方法です。

担当医師プロフィール



副院長 兼 外科第一部長

關野 考史（せきの たかふみ）

専門分野

▶ 消化器外科（腹腔鏡下大腸切除等）

資格

・日本外科学会:認定医、外科専門医、指導医
・日本消化器外科学会:専門医、指導医、
消化器がん外科治療認定医
・日本内視鏡外科学会:技術認定（大腸）
・日本消化器病学会:専門医
・日本肝臓学会:専門医
・日本内視鏡外科学会:評議員
・日本臨床外科学会:評議員

所属学会

・日本外科学会
・日本消化器外科学会
・日本内視鏡外科学会
・日本ロボット外科学会
・日本食道学会
・日本胃癌学会
・日本肝胆膵外科学会
・日本大腸肛門病学会
・日本消化器病学会
・日本肝臓学会
・日本内分泌外科学会
・日本臨床外科学会

略歴

・1991年 岐阜大学医学部医学科 卒業
・1991年 岐阜大学第1外科 研修医
・1992年 国立東静岡病院 外科 研修医
・1993年 国立循環器病センター 病理レジデント
・1996年 羽島市民病院 外科医師
・1997年 木曽川病院 外科医長
・2001年 郡上中央病院 外科医長
・2003年 岐阜大学第1外科 助手
・2006年 岐阜大学高度先進外科助手・第1外科併任講師
・2007年 岐阜大学高度先進外科助教・第1外科併任講師
・2011年 岐阜大学医学部附属病院 第1外科講師
・2012年 岐阜大学医学部附属病院 第1外科講師・高度先進外科 臨床准教授
・2014年 岐阜大学医学部附属病院 第1外科准教授
・2017年 松波総合病院 副院長 兼 外科部長・消化器外科部長、岐阜大学第1外科 非常勤講師
・2018年 松波総合病院 副院長 兼 外科第一部長、岐阜大学医学部客員臨床系医学教授